

## 新年のご挨拶

川崎南法人会 会長 橋本 淳子



新年明けまして、おめでとうございます。

新春を迎え、謹んで会員の皆様をはじめ、ご家族の皆様にご心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、関係各位の深いご理解と温かいご支援を賜り、また、会員の皆様にも会活動の充実と発展に多大なご尽力を頂きまして心から厚くお礼を申し上げます。

昨年の経済の動向は、景気は持ち直してきているといわれるものの、自立的な回復基調とは程遠く、大部分の中小企業にとって引き

続き大変厳しい年でありました。

さて、私ども川崎南法人会は、「よき経営者を目指す者の団体」として、また民間における税のオピニオンリーダーとして、様々な活動を行っています。

昨年の当法人会は定例の会活動のほか、税の啓発活動、将来を担う学童に対する租税教育、社会貢献事業等充実した年でもありました。

特に、事業委員会、女性部会が中心になり、「第10回米海軍第七艦隊音楽隊コンサート」を川崎市教育文化会館で開催し、約1,600名の参加をいただき、幕間には川崎南税務署の正治署長が市民の皆様にe-Taxの普及推進をPR。また、租税教育にも力を入れ、7月の租税教室をはじめ、小学校の低学年を対象に、わくわくプラザ租税教室を開催し、来場の子供達に税の大切さを伝えました。

そして、「幸区民まつり」、「かわさき市民まつり」では、参道ブースで、一般来場者（小学生とその親）を対象に「パソコンによる税金クイズ」及び税に関する絵はがきコンクールを実施し、参加者にはノート等を配布し、税の大切さを理解することで、納税意識の高揚を図ることを目的として開催いたしました。

これらの諸行事が地域の皆様方に喜びいただけたとすれば、ひとえに関係各機関のご協力の賜物であり、役員をはじめ会員の皆様のご尽力あつてのことと存じます。

さて、新しい公益法人制度改革も、去る8月22日に開催されました「神奈川県公益認定等審議会」におきまして、当会の公益移行申請につきまして審議され、「公益認定の基準に適合する」との答申を頂き、今年4月から公益社団法人 川崎南法人会への移行となる予定です。

今後は、法施行の下に更なる事業の公益性、透明性をもって、支部、部会、委員会活動の活性化を図り、更に地域社会への充実を図ることを役員一同総力をあげて取り組んでまいります。

結びになりますが、今年の新しい年が明るく、輝かしい年となることを切望すると共に、会員皆様方の事業のますますのご繁栄を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のご挨拶

川崎南税務署 署長 正 治 文 人



新年あけましておめでとうございます。

平成25年の年頭に当たり、社団法人川崎南法人会の皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、橋本会長はじめ、役員並びに会員の皆様方には、税務行政の円滑な運営に対しまして、深いご理解と格別なご支援を賜り、本誌面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

昨年の貴会の活動を顧みますと、各種研修会・講演会を通じた正しい税知識の普及と納税道義の高揚に努められる一方、社会貢献活動としての「米海軍第7艦隊音楽隊コンサート」の開催や、租税教育活動として、わくわくプラザでの「租税教室」の開催など、地域に密着した活動にも積極的に取り組まれており、これもひとえに橋本会長をはじめ、役員並びに会員の皆様方の日頃からの御尽力の賜物であると、心から敬意を表する次第でございます。

また、貴会におかれましては、本年4月より公益社団法人へ移行されることとなっており、今後とも、より公益性の高い事業活動を積極的に展開していただきますよう、ご期待申し上げますとともに、これまで培った貴会との相互信頼・協調関係を更に深いものとなるよう取り組んでまいりたいと考えております。

さて、最近の税務を取り巻く環境は、国際化・高度情報化の進展、経済取引の複雑・広域化など、著しく変化する中で、税務の仕事は一層複雑・困難なものとなっており、この様な状況の中、私ども税務行政に携わる者といたしましては、これまで培われた納税者からの信頼を維持しつつ、e-Taxの普及・拡大など「納税者サービスの充実」や「適正な課税と徴収の実現」を図っていきたいと考えておりますが、我々に与えられたこれらの重点課題を実現するためには、皆様方のご理解とご支援が是非とも必要であります。

どうか、会員の皆様方には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、新しい年が、会員の皆様方にとりまして、幸多き年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

